

(趣旨)

第1条 この規程は公立鳥取環境大学（以下「本学」という。）における AI・数理・データサイエンス教育プログラム（以下「プログラム」という。）の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 プログラムは、AI・数理・データサイエンスを生活や仕事の中で使いこなすことができる素養を身に着けること、学修した AI・数理・データサイエンスの知識と技能を基に、適切な判断、説明、活用ができるようになること、AI等を利用したシステム等の恩恵の享受できるようになることを目的とする。

(履修対象)

第3条 プログラムは、本学の学部学生を対象とする。

(履修方法)

第4条 プログラムの履修を希望する学生は、AI・数理・データサイエンス教育プログラム履修届（様式第1号）を、1年次前期以降の履修登録期間内に提出する。

(種類及び授業科目等)

第5条 プログラムは2種類とし、各プログラムで身につけることができる能力、対象科目及び修了認定の条件は別表のとおりとする。

(修了認定)

第6条 プログラムの修了認定は、AI・数理・データサイエンス教育研究センター（以下「センター」という）が確認した後、教務委員会、教授会の議を経て学長が行う。

(修了認定証の交付)

第7条 学長は、第6条の修了認定を受けた学生に、AI・数理・データサイエンス教育プログラム修了認定証（様式第2号）を交付する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、プログラムに関し必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行し、令和3年度入学生から適用する。

別表（第5条関係）

種類		リテラシーレベル	応用基礎レベル
身につけることができる能力		AI・数理・データサイエンスへの関心を高め、適切に理解し活用する基礎的な能力	AI・数理・データサイエンスを活用して課題を解決するための実践的な能力
対象 科目名	必修科目	・ AI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI</li> <li>・ データサイエンス</li> <li>・ プログラミング</li> <li>・ データ構造とアルゴリズム</li> </ul>
	選択科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統計学入門</li> <li>・ データサイエンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 微分積分学</li> <li>・ 線形代数学</li> </ul>
	自由科目		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データサイエンス実践演習</li> <li>・ AI 実践演習</li> <li>・ 画像処理</li> <li>・ パターン認識</li> <li>・ AMD 実践演習 A</li> <li>・ AMD 実践演習 B</li> </ul>
修了認定の条件		必修科目 2 単位、選択科目から 2 単位以上取得	必修科目 8 単位、選択科目から 2 単位以上に自由科目単位を合計して 10 単位以上取得

様式第1号（第4条関係）

AI・数理・データサイエンス教育プログラム履修届

年 月 日

公立鳥取環境大学 学長 様

所属学部：

所属学科：

学籍番号：

氏 名：

AI・数理・データサイエンス教育プログラムを以下のとおり履修します。

記

教育プログラムの種類	履修
AI・数理・データサイエンス教育プログラム（リテラシーレベル）	
AI・数理・データサイエンス教育プログラム（応用基礎レベル）	

（履修する教育プログラムの種類の履修欄に○を記入する）

様式第2号（第7条関係）

AI・数理・データサイエンス教育プログラム（〇〇〇〇レベル）修了認定証

所属学部：

所属学科：

学籍番号：

氏 名：

上記の者は、「AI・数理・データサイエンス教育プログラム（〇〇〇〇レベル）」を修了したことを認めます。

年 月 日

公立鳥取環境大学 学長